

## 【臨床指標6】 診療科別主要手術の術前、術後日数症例 トップ3

診療科別に手術症例数の多い上位3症例について、主要手術の平均術前日数（手術前の入院日数の平均）、平均術後日数（手術後の入院日数の平均）などを示したものです。それぞれの診療科がどのような手術を多く実施しているかを知ることができます。

転院率とは、該当する症例数の内、当院から他の病院に移動して継続入院（転院）することとなった患者さんの割合です。

当院に限ってのことではありませんが、簡易な手術の方が症例数として多い傾向にあることから、症例数が上位にあっても必ずしも得意な手術とは言い切れません。また、単独では行わない補助的手術も症例数として多い傾向にあります。

## 【消化器内科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	166	2.5	19.1	75.6	5.4
K654	内視鏡的消化管止血術	121	1.0	13.2	68.2	6.6
K6152	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）	97	1.6	9.0	72.9	0.0

～解説～

「K688 内視鏡的胆道ステント留置術」は胆管結石や胆管癌による胆管閉塞に対して行います。

「K654 内視鏡的消化管止血術」は胃潰瘍や十二指腸潰瘍・大腸憩室出血例で行います。

「K6152 血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）」は、主に肝細胞癌による治療で、内視鏡で止血不能な消化管出血に対して行っています。

【循環器内科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	109	2.5	2.5	71.1	0.9
K5463	経皮的冠動脈形成術 その他 のもの	64	2.3	3.0	71.3	1.6
K550-2	経皮的冠動脈血栓吸引術	51	0.4	14.7	67.4	3.9

～解説～

循環器内科では、経皮的冠動脈ステント留置術が 109 件と科内の大半を占めています。  
上位 3 治療とも急性心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患に有効なカテーテルでの治療法です。

【腎臓内科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K610-3	内シャント設置術	50	9.2	16.5	70.7	4.0
K608-3	内シャント血栓除去術	11	12.1	19.6	68.5	0.0
K6146	血管移植術、バイパス移植術 （その他の動脈）	4	12.3	66.0	77.3	25.0

～解説～

腎臓内科では、末期腎不全のための内シャント設置術と内シャントにできた血栓除去術が多い傾向にあります。血管移植術では、平均術後日数が長くなっています。

## 【一般外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （%）
K6335	鼠径ヘルニア手術	178	1.3	1.4	65.1	0.0
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	143	1.3	3.9	58.7	0.0
K7181	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍 を伴わないもの	87	0.1	3.7	38.2	0.0

### ～解説～

一般外科では、鼠径ヘルニアといった日常的な疾患から悪性腫瘍の手術まで幅広く治療をしています。腹腔鏡下手術を積極的に行い、入院期間も短縮されています。虫垂炎は平均年齢が38.2歳と若年層が多いようです。

## 【呼吸器外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （%）
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超える	15	1.9	6.1	67.9	0.0
K5131	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞 手術（楔状部分切除）	15	7.4	3.9	33.0	0.0
K5143	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除 又は1肺葉を超える	13	2.2	8.1	69.9	0.0

### ～解説～

呼吸器外科では、胸腔鏡を用いて開胸創をより小さくし、肉体的負担を軽減することで、標準的な肺癌手術でも、入院から退院まで5～7日間の治療が可能となっています。上表2位の胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術は気胸が主な症例なので若年層が占めています。

【心臓外科・血管外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	29	1.6	6.7	64.0	0.0
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））	26	4.8	3.5	30.2	0.0
K6171	下肢静脈瘤手術（抜去切除術）	17	1.4	6.1	64.4	0.0

～解説～

心臓外科・血管外科では、閉塞性動脈硬化症や下肢静脈瘤による手術が増えています。特に下肢静脈瘤に対して平成26年7月から負担の少ない血管内焼灼術を導入しています。

## 【小児外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （%）
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 両側	52	1.0	1.0	3.4	0.0
K836	停留精巣固定術	30	1.0	1.0	2.2	0.0
K6333	臍ヘルニア手術	12	1.0	1.0	2.3	0.0

～解説～

小児外科では、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術が多く占めています。上位の症例は在院日数もほぼ3日と短期間で対応しています。乳幼児健診や家庭での発見ののち、専門医のいる当院で治療を受けています。



## 【移植外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K915	生体臓器提供管理料	7	8.9	21.0	53.1	0.0
K780-2	生体腎移植術（提供者の療 養上の費用）	7	8.9	21.0	53.1	0.0
K783-2	経尿道的尿管ステント留置 術	7	8.9	21.0	53.1	0.0

～解説～

移植外科では、生体腎移植は7例でした。生体腎移植とは、親、子、兄弟などの親族、または配偶者から腎臓の提供を受けます。

【整形外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （%）
K0821	人工関節置換術 肩、股、 膝	106	1.4	19.2	67.3	10.4
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、 上腕、大腿	91	1.1	16.7	67.8	60.4
K0462	骨折観血的手術 前腕、下 腿、手舟状骨	76	2.0	14.3	48.7	14.5

～解説～

整形外科では、骨折観血的手術が大半を占めています。次に、人工関節置換術が多い傾向にあります。また当院では、大腿骨頸部骨折連携地域連携パスやMCRを運用しており、転院を促すことで、市内の急性期・回復期病院と密に連携をしています（転院率参照）。

## 【リウマチ科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K0821	人工関節置換術 肩、股、 膝	14	1.9	22.1	61.9	7.1
K0782	観血的関節固定術 胸鎖、 肘、手、足	4	2.3	19.2	65.8	0.0
K0803	関節形成手術 肩鎖、指 （手、足）	2	1.0	1.5	58.5	0.0

～解説～

リウマチ科では、関節リウマチ、変形性関節症の進行によって日常生活に支障が出た患者さんに、人工関節置換術などの手術にも積極的に対応しています。

【形成外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた 乳房再建術（乳房切除後）	6	1.0	4.3	47.7	0.0
K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露 出部）（長径2 c m以上4 c m 未満）	6	0.8	1.0	12.0	0.0
K013-21	全層植皮術（25 c m <sup>2</sup> 未 満）	4	0.8	1.0	14.5	0.0

～解説～

形成外科では、乳癌術後の乳房二次再建術や顔面・前腕部など露出部といわれる部分の腫瘍や傷に対して、欠損が立たなくなるための治療を行っています。

【脳神経外科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （%）
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	72	0.5	11.3	75.3	16.9
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング （1箇所）	21	1.0	27.4	62.4	40.6
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術 その他 のもの	31	3.0	19.2	58.5	6.5

～解説～

脳神経外科では、慢性硬膜下血腫に対する穿孔洗浄術が多い傾向にあります。当院では、他にも頭部外傷、脳腫瘍、未破裂脳動脈瘤など各種疾患に対応をしています。急性期病院のため、長期療養を必要とする症例には転院率も比較的高い傾向にあります。

## 【産婦人科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K8982	帝王切開術 選択帝王切開	210	6.2	6.2	33.3	0.0
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）	155	1.0	3.8	40.8	0.0
K8981	帝王切開術 緊急帝王切開	137	3.0	6.1	33.7	0.7

### ～解説～

産婦人科では、平成26年4月より総合周産期センターが開設されこともあり、多くの帝王切開術（選択・緊急 計347件）を行っています。

また、腹腔鏡下の手術が保険適応となったため子宮体癌や子宮筋腫を始めとする良性疾患に対しても、腹腔鏡下手術が主流となり、肉体的負担を軽減することで、入院期間も短縮されています。

## 【耳鼻いんこう科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （%）
K3772	口蓋扁桃手術 摘出	94	1.0	5.3	12.7	0.0
K370	アデノイド切除術	75	1.0	5.0	5.3	0.0
K386	気管切開術	25	2.3	67.1	61.5	20.0

### ～解説～

耳鼻いんこう科では、術前・術後を含め1週間以内での退院が多い傾向です。  
また、口蓋扁桃的の手術及びアデノイド切除術の平均年齢をみますと、患者さんのほとんどが  
幼児から就学児であるといえます。

【眼科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K2821 <sup>□</sup>	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他）	735	1.2	3.3	71.4	0.0
K2801	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含む）	211	1.2	7.3	63.2	0.0
K275	網膜復位術	37	0.5	6.1	43.7	0.0

～解説～

眼科では、白内障に対する水晶体再建術（735件）が大半を占めています。次に、硝子体茎頭微鏡下離断術（211件）が多い傾向にあります。白内障患者と比較すると、網膜剥離に対する網膜復位術の患者さんは加齢による硝子体剥離が主な要因のため、中高年に多い特徴にあります。



## 【皮膚科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （％）
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術 単純 切除	31	0.5	12.5	69.4	0.0
K013-21	全層植皮術 25平方センチ メートル未満	18	0.1	10.3	71.9	0.0
K0132	分層植皮術 25平方センチ メートル以上100平方センチ メートル未満	7	3.1	1.8	67.0	0.0

### ～解説～

皮膚科では、黒色腫・基底細胞癌などの皮膚悪性腫瘍切除術（31件）が多い傾向にあります。また、平成26年の春から夏にかけて、工場での火災事故による火傷が多く発生したこともあり、分層植皮術が多く行われています。

【泌尿器科】

Kコード	名称（部位）	症例数 （件）	平均術前 日数 （日）	平均術後 日数 （日）	平均 年齢 （歳）	転院率 （%）
K8036イ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	122	1.4	6.6	73.4	0.0
K802-21	膀胱脱手術（メッシュ使用）	44	1.7	6.1	72.1	0.0
K8412	経尿道的前立腺手術（その他）	44	3.3	7.3	71.6	2.3

～解説～

泌尿器科では、早期膀胱癌や組織採取に適した膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術（122 件）が大半を占めています。上表 3 位で前立腺癌に対する経尿道的前立腺手術（その他）も多く施行しています。70 歳以上の症例が多いのが特徴です。また、上位にはありませんが手術支援ロボット（ダヴィンチ）を導入しています。